

いまだらからこそ、年金・賃金・権利・リストラ

ひとり一人の切実な要求を実現する組合活動を

こんなひどく 長く続いた会社の差別
だから差別是正の申し立てを



生活と権利・平和を守る自主的
民主的な組合活動の仲間たち

私たちは、ひとり一人の組合員が主人公で
不当な解雇を許さず、権利を守り生活向上を
めざして組合活動に取り組んできました。
しかし資格昇格は極端に遅らされ、すべて
の役職からもはずされ、給料は頭打ち。パー
トや派遣労働者への差別も拡大しています。
こんなひどい差別を許しておくわけにはい
きません。

労組役員選挙を会社が妨害

「選挙中の活動を低下させるために出張」

私たちは東芝勤労部がつくった230ページの秘密報告書を証拠として労働委員会に提出しました。このマル秘文書には、東芝が全社で組合活動を会社の言いなりにするために、公安警察と癒着して思想調査や東芝扇会づくりを行い、組合役員選挙に支配介入してきたことが詳細に記録されています。(左はタービン工場の例)

東芝勤労部秘密報告書

甲124号証 123ページより

6. 労組役員選挙対策

- (1) 各課長または課長の指名する主任をもって選対連絡責任者・・・
- (2) 選挙情勢と得票状況を分析検討しきめ細かい作業をやった。
- (3) 問題者等の措置

選挙期間中(左)勢力の分断と活動を低下させるため党、民青を業務出張させた。・・・
反対に・・・火力発電所に出張中の健全化グループ(扇会員)を業務連絡で投票日当日に呼び戻すなど万全を期した。

京浜事業所の野口さんは、このような会社の違法な攻撃に負けずに、六十年代から定年までの約四十年間にわたって執行委員選挙に立候補して役員選挙の民主化と働くルールの確立を訴えて、仲間とともにがんばってきました。

しかし、私たちに対する「問題者」扱いの差別はいまも続いています。

すべての差別をなくしてこそ

あなたが活き、東芝が活きる

財界はリストラで権利を侵害し、自衛隊のイラク派兵に続き憲法改悪をねらい、年金改悪・賃下げで国民を苦しめています。

こんなときだからこそ、組合を会社の思い通りに動かすために、自主的に活動する人たちを差別するのは許せません。岡村社長がいう「あなたが活きるとき、東芝が活きる」という新経営ビジョンは、職場からあらゆる差別をなくしてこそ実現できるのではないのでしょうか。
みなさんのご支援をお願いします。

二〇〇四年 二月